

《アートプログラム一部改訂に伴う内容 リスト》 2026.7

タイトル	シリーズ	〈改訂前〉	〈改訂後〉	
			変更	追記
No.24「そらとくも」	オイルパステルアートプログラム No.24			またオイルパステルをベビーオイルでうすく溶いて雲に部分的に色を付けてみると、雲の陰影がさらに生まれて空に奥行きが感じられます。(テキスト28ページ 5 オイルパステルで描きましょう「～バランスを取ります。」の後に追記)
No.26「シャボン玉とんだ」	CAC No.25～No.27	用意するもの レザック80ツムギ らくだ170Kg	用意するもの ミューズコットン らくだ 118kg	
Tシャツ「雪の結晶」を描く	36選 I【夏5】	種類:工芸 所要時間:90分 時間配分:制作プロセス【1】35分 制作プロセス【2】35分 制作仕立て10分	種類:平面 所要時間:85分 時間配分:制作プロセス【1】30分 制作プロセス【2】30分 制作仕立て15分	
				脳いきき画材:丸筆(黄緑・4号)
		備品:スポンジタンポ(台所用スポンジを6等分にカットし、中央を輪ゴムで絞りと、蝶ネクタイのような形にする)、スポンジローラー、新聞紙	備品:スポンジ1人2個(中央を輪ゴムで絞りと、蝶ネクタイのような形にする)、厚紙または新聞紙、筆洗、ドライヤー、紙皿(トレイ) 削除:スポンジローラー	
		品名:Tシャツ(紺、白の2色) 備考:M・Lサイズ各半々くらいで用意する 備考:テープ状にカット 品名:テキスタイルメディウム(ジョソニー)	品名:Tシャツ(紺あるいは白) 備考:「M・Lサイズ各半々くらいで用意する」を削除 備考:4種類にカット。詳細は実施前準備欄を参照。 品名:ファブリックメディウム 数量:少量	
		実施前準備:(テープ状に①1cm幅×20cm ②0.5cm幅×20cm③自由な形に切りとるための端材 ④中心に貼る1cm四方)	実施前準備:テープ状に①1cm×20cm ②0.5cm×20cm 各7-8本 ③自由な形に切りとるための端材5cm×5cm 1枚 ④中心に貼る1cm四方 1枚	実施前準備:着色する際の下敷き用に新聞紙を使用する場合は、なるべく折り目がないようにあらかじめ平らにのぼしておく。
		制作プロセス【2】制作の流れ (1)結晶のデザインが完成したら、その上からテキスタイルメディウムを混ぜたアクリル絵具で着色していく。筆ではなく、スポンジタンポを使い、混色やタッチの変化を楽しみたい。シールの周りを着色するのがポイント。 ◆アクリル絵具、テキスタイルメディウム、ペーパーパレット、スポンジタンポ、スポンジローラー、新聞紙を配布	制作プロセス【2】制作の流れ (1)アクリラガッシュの中から、使いたい色を2～3色選びペーパーパレットに出す。ファブリックメディウムと絵具を混ぜながらスポンジによく馴染ませ、プロセス1で貼ったカッティングシートの上からたたきようにしながら少しずつ着色していく。 ◆アクリラガッシュ、ファブリックメディウム、ペーパーパレット、スポンジ、厚紙または新聞紙(下敷き用)を配布	
テラコッタタイルに描く(ミニカボチャ)	36選 I【秋6】	品名:テラコッタタイル	品名:ニューテラコッタ 数量(一人分) 1/2 実施前準備:削除 ※文中の「テラコッタタイル」は「粘土板」に表記変更	備品:ヘラ(粘土切り分け用)、ガムテープ、定規(20cm程度)、たたら板2本(厚さ1cm、幅3cm、長さ30cm程度の木の板)  実施前準備:・別紙を参照し、ニューテラコッタ(粘土)でサイズ約140×140×10mm(厚さ)の粘土板を制作しておく。(2、3日位乾燥させる)  ※別紙「テラコッタ風粘土板の作り方」(2026改訂) PDF参照
京芋のスクラッチレリーフ	36選 I【冬1】	品名:クレイド 実施前準備:・ジェッソにニューテラコッタを～	品名:ニューテラコッタ 実施前準備:・ジェッソにニューテラコッタを～	
土偶	36選 I【冬3】	品名:クレイド	品名:ニューテラコッタ	
人参のネガポジ画	36選 II【31】	品名:レザック80ツムギ らくだ170Kg 実施前準備:台紙用のレザック80ツムギを17.5cm×37cmにカットしておく。台紙のサイズも必要があればカットする。	品名:ミューズコットン らくだ 118kg 実施前準備:台紙用のミューズコットンを17.5cm×37cmにカットしておく。台紙のサイズも必要があればカットする。	
ジャコメッティ風彫刻	36選 II【33】			実施前準備:(添付図参照)  ※「ジャコメッティ風彫刻」添付図PDF参照
流木のオブジェ	36選 III【27】	種類:工芸 所要時間:70分 時間配分:制作導入15分 制作プロセス【3】10分 資料:用意する 制作プロセス【1】留意事項 ◆ジェッソ、筆、新聞紙(下敷き)を配布 制作プロセス【2】留意事項 ◆水彩絵の具、デザインパレット、筆洗を配布	種類:立体 所要時間:60分 時間配分:制作導入10分 制作プロセス【3】5分 資料:なし 制作プロセス【1】留意事項 ◆ジェッソ、丸筆(青・10号)、新聞紙(下敷き)を配布 制作プロセス【2】留意事項 ◆透明水彩絵の具、デザインパレット、丸筆(黄緑・4号)、筆洗を配布	
不思議な形の立体アート	36選 III【28】	品名:大理石調粘土	品名:大理石調ねんど	備考:900g もしくはラドールでも可(1人分1個) 実施前準備:※ラドールを使用する場合は、1個で1人分。
金箔とクワイの正月飾り	BESTシリーズ 季節の行事【D-17】	品名:タントボード(描画用) 備考:FK-216 実施前準備:・タントボードを8.5×18.1cmにカットして、裏面に両面テープを貼っておく。	品名:NTラシャボード(描画用) 備考:NT-711(こいあか・しっこく)またはNT-709(うすふじむらさき・あか) 実施前準備:・NTラシャボードを8.5×18.1cmにカットして、裏面に両面テープを貼っておく。※描画面は、NT-711はこいあか、NT-709はあか	

火焰土器	BESTシリーズ 立体 【C-2】	品名:クレイド 制作プロセス【1】注意事項◆クレイド、回転台、割り箸ペンを配布 制作プロセス【2】制作の流れ(2)ある程度高さが出来たら、割り箸ペんに水で少し湿らせた布をかぶせて擦りながら、～ 制作プロセス【2】注意事項◆布、筆洗(布を湿らせる)を配布	品名:ニューテラコッタ 制作プロセス【1】注意事項◆ニューテラコッタ、回転台、割り箸ペンを配布 制作プロセス【2】制作の流れ(2)ある程度高さが出来たら、指や綿棒で擦りながら、～ 制作プロセス【2】注意事項◆割り箸ペン、綿棒を配布	
炎のオブジェ	BESTシリーズ 立体 【C-18】	品名:クレイド 制作プロセス【1】注意事項◆クレイド、プリントベニヤを配布	品名:ニューテラコッタ 制作プロセス【1】注意事項◆ニューテラコッタ、プリントベニヤを配布	
落ち葉と水紋	BESTシリーズ 立体 【C-34】	品名:クレイド	品名:ニューテラコッタ	備考:アルファクレイもしくは、その他の粘土でも重量があれば可
古代文字絵画	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【E-32】	品名:クレイド	品名:アルファクレイ (ニューセピア)	
粘土で作る土版	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【E-40】	品名:クレイド(700kg) 実施前準備:・クレイドを練って～	品名:ニューテラコッタ 実施前準備:・ニューテラコッタを練って～	
夏色クレイドローイング	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【E-48】	品名:マーメイドボード 備考:M-18つゆ・るり M-24だいたい・こがね “るり”か“だいたい”を使用。たはFKタントボードFK211(青系/明度が高い方を使用)、FK215(オレンジ系)でも使用可 品名:アルミテープ 数量:各色1枚ずつ 備考:各色1人10cm程度 幅5cm 銀色、銅色	品名:FKタントボード 備考:FK211(青系/明度が高い方を使用)、FK215(オレンジ系) 品名:アルミテープ 数量:1枚 備考:1人10cm程度 幅5cm 削除:銀色、銅色	品名:銅箔テープ 数量:1枚 備考:1人10cm程度 幅5cm
縄文レリーフ	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【E-72】	品名:クレイド 実施前準備:・クレイドを半分にかuttingして、～ 制作プロセス【3】制作の流れ (1)クレイドを～ 制作プロセス【3】注意事項◆クレイドを配布	品名:ニューテラコッタ 実施前準備:・ニューテラコッタを半分にかuttingして、～ 制作プロセス【3】制作の流れ (1)ニューテラコッタを～ 制作プロセス【3】注意事項◆ニューテラコッタを配布	実施前準備: ※木工ボンドの粘度が強い場合は、筆で塗りやすい程度に水を少し加えて調整しても良い。
クレイペイント 揺れる熱帯魚	BESTシリーズ キッズイベント 【F-6】	制作プロセス【1】制作の流れ (2)粘土を1/3程ちぎり、ひも状に伸ばす。イメージし、頭部から尾にかけて、動きを感じながら粘土を塩ビ板の上に置いてみる。  制作プロセス【2】制作の流れ まずは魚の頭の向きを決め、粘土を指で擦りつけながら尾にかけて伸ばしていき、最後に尾ひれを造形する。  制作仕立て 制作の流れ (1)動きやネガを意識しながら、塩ビ板の気になる角をはさみで切り取り、余白部分にボスカでサインを入れる。  制作仕立て 注意事項 (1)余白を大切に、画面の全体の動きや流れを感じながらカッティングしたい。	制作プロセス【1】制作の流れ (2)粘土を1/3程ちぎり、ひも状に伸ばす。魚の向きと大きさをイメージし、頭部から尾まで、粘土を塩ビ板の上に置いてみる。  制作プロセス【2】制作の流れ (1)プロセス【1】の粘土を、魚の形をイメージしながら指で擦りつけて伸ばしていき、最後に尾ひれを造形する。  制作仕立て 制作の流れ (1)描いた魚の特徴を意識しながら、周囲の塩ビ板をじっくりとはさみで切り取り、余白部分にボスカでサインを入れる。  制作仕立て 注意事項 (1)余白を大切に、魚の形ぎりぎりではなく、周囲1～2cmの余白をとって切り取るとうまい。 (2)・輪状の塩ビ板が、作品を裏から支える構造になる。	脳いきき画材:平筆(赤・16号) 備考:LLサイズで1パック16人分くらいとれる(1人分約10g) 品名:グロスポリマーメディウム 実施前準備:・制作で使用する塩ビ板(約30cm×13cm)の片面全面に、グロスポリマーメディウムを平筆で塗って乾かしておく。
トーテムポールを造る	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【F-9】	品名:クレイド(パジコ) 備考:700g	品名:ニューテラコッタ 削除:700g	
石の古代遺跡	BESTシリーズ 最新アートプログラム 【F-15】	品名:クレイド 実施前準備:・クレイドを袋から出し、～ 制作プロセス【1】制作の流れ (1)クレイドを～ ◆クレイド、シナベニヤを配布	品名:ニューテラコッタ 実施前準備:・ニューテラコッタを袋から出し、～ 制作プロセス【1】制作の流れ (1)ニューテラコッタを～ ◆ニューテラコッタ、シナベニヤを配布	
テラコッタタイルに描くミニひまわり	BESTシリーズ アートプログラム実践塾 【L-22】	品名:テラコッタタイル	品名:ニューテラコッタ 数量(一人分) 1/2 実施前準備:削除 ※文中の「テラコッタタイル」は「粘土板」に表記変更	備品:ヘラ(粘土切り分け用)、ガムテープ、定規(20cm程度)、たたら板2本(厚さ1cm、幅3cm、長さ30cm程度の木の板)  実施前準備:・別紙を参照し、ニューテラコッタ(粘土)でサイズ約140×140×10mm(厚さ)の粘土板を制作しておく。(2、3日位乾燥させる)  ※別紙「テラコッタ風粘土板の作り方」(2026改訂) PDF参照
おしゃれシールアート	1.2歳児向け【22】	備考:A4(27×19.6cmにカット) 200kg (スカイ) 備考:A3(33×26cmにカット) エクリュもしくはパールピーチ	備考:27×20cm 200kg (ネイビー) 備考:110kg 33×26cm (エクリュ)	実施前準備:・マーメイド紙を指定のサイズにカットする。
墨絵フロッタージュ	CAAメソッドNo.6	備考:16切 橙、とびいろ 210kg (台紙用)	備考:16切 橙、くちば 210kg (台紙用)	